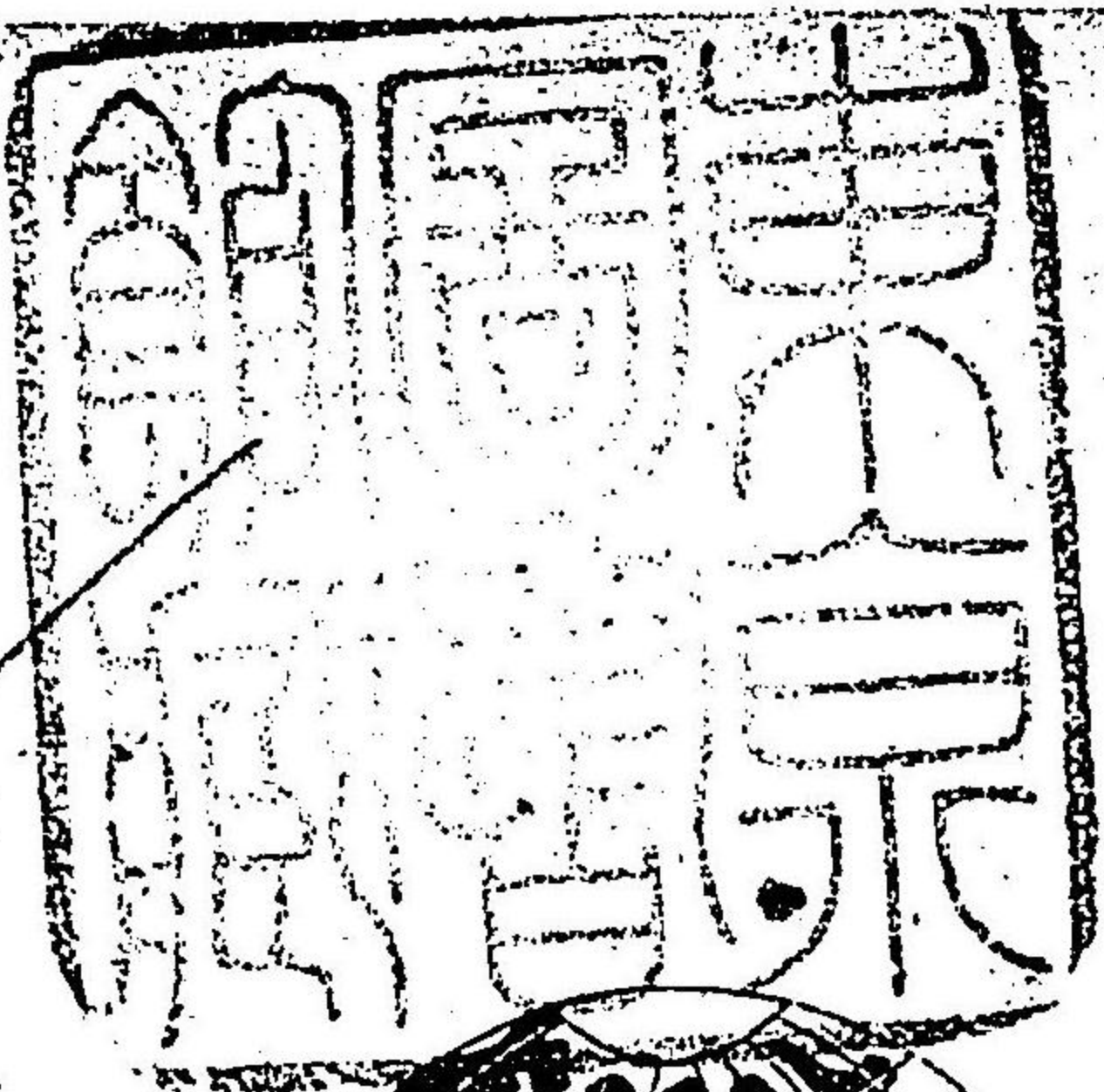


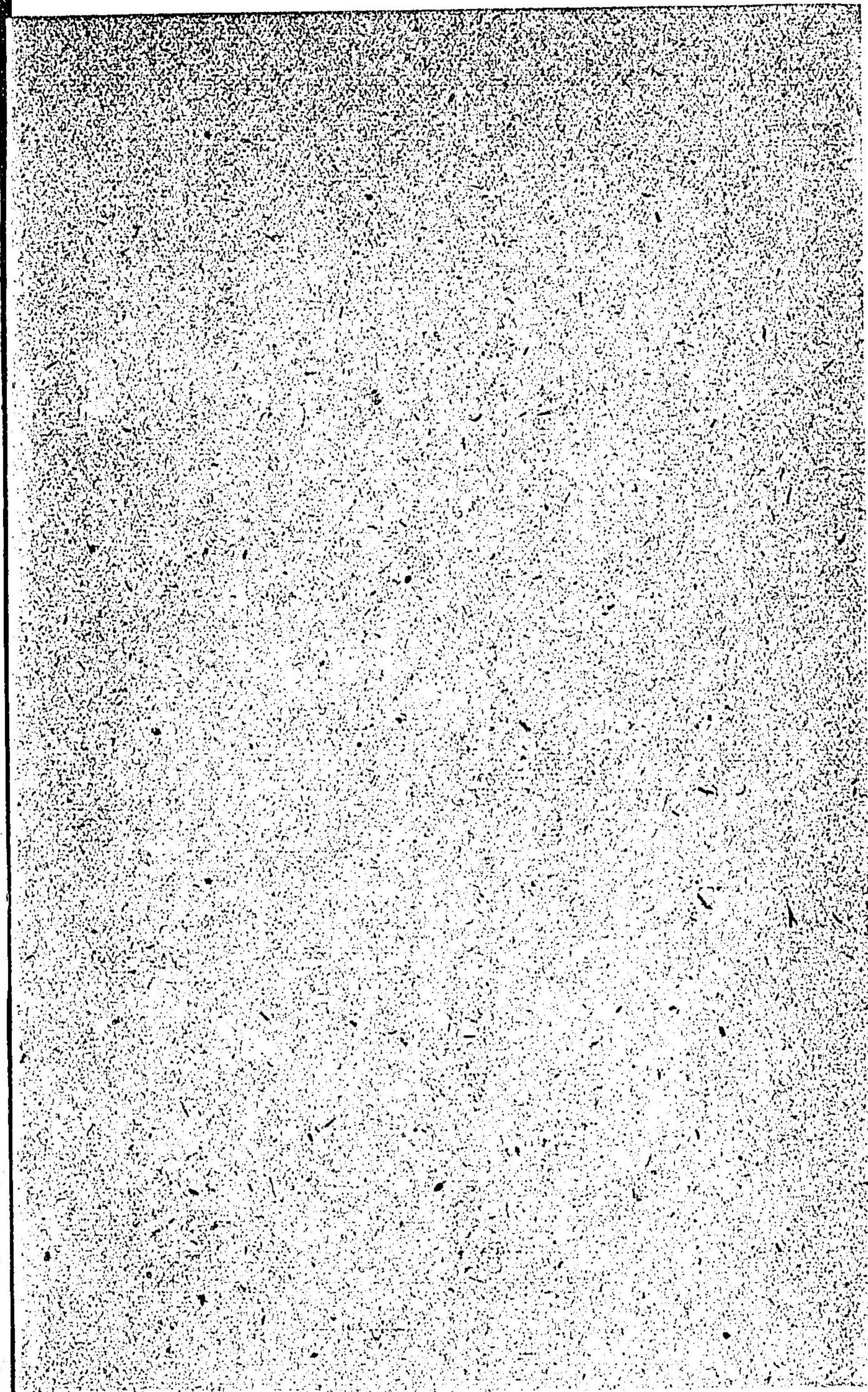
Handwritten scribbles and numbers, possibly '12'.



295.3
U76



**"ONE HALF THE WORLD KNOWETH
NOT HOW THE OTHER HALF LIVETH."**



例言

一心醉記は余か曾て米國に在るの日親しく彼地に於て見聞したる所に據り余か一夕の感を述へたるものなり

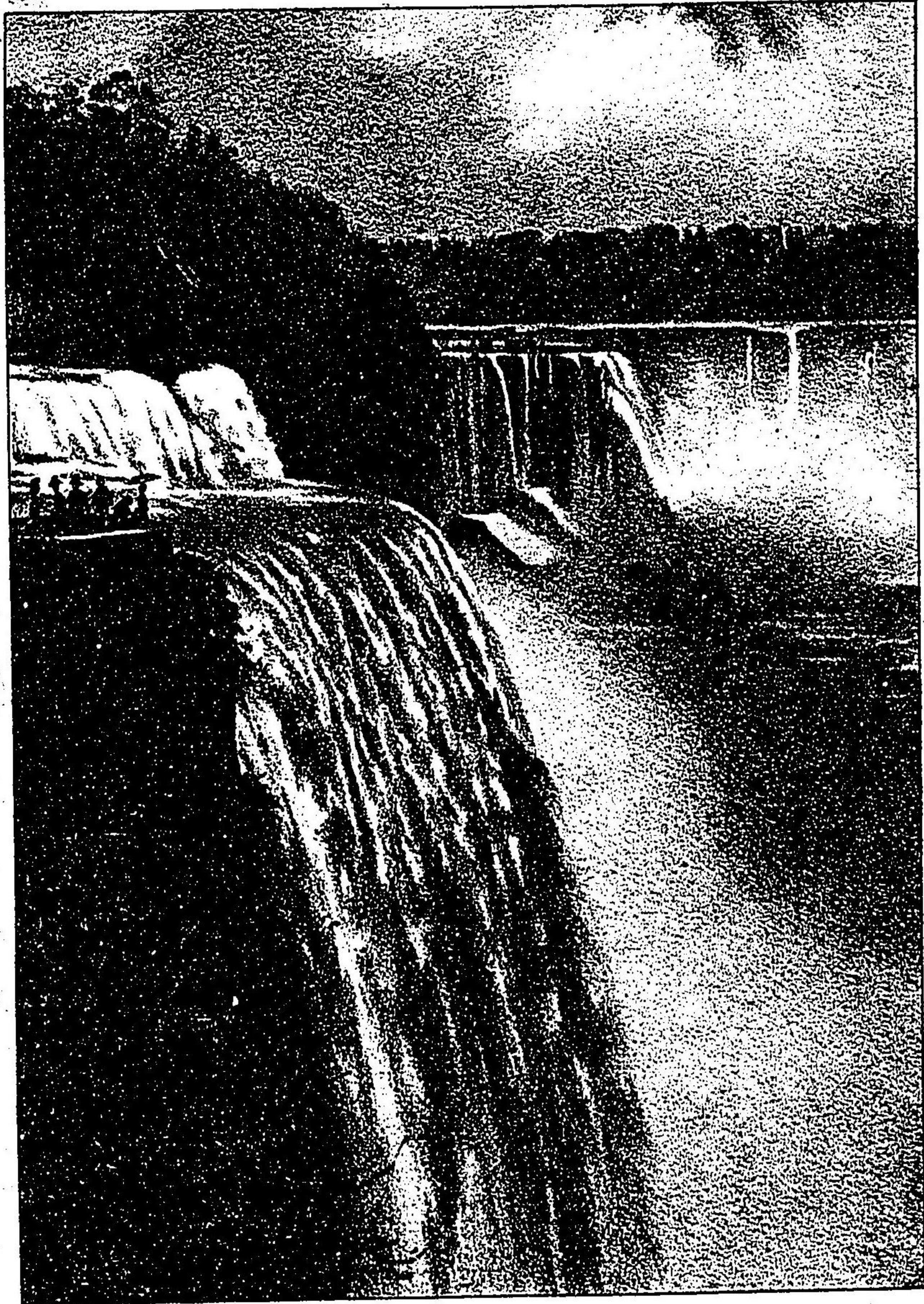
一初版以來ゼイグード及スタンフホルドの二名士か前後相踵で故人と爲り又加藤弘之氏か帝國大學を去り默阿彌翁か隔世の人と爲りたるか如き書中二三の變遷ありと雖も今総て前版に隨ひ又一々之か記事を改めす他なし其の生死進退は以て諸氏か功績を増減するに足らざればなり

一本書は僅々十數葉の一小冊子固より以て大方の高評を博するに足らずと雖ども而かも余をして茲に重版を促さしめたる

るは余か感慨の孤ならざるを喜ぶものなり

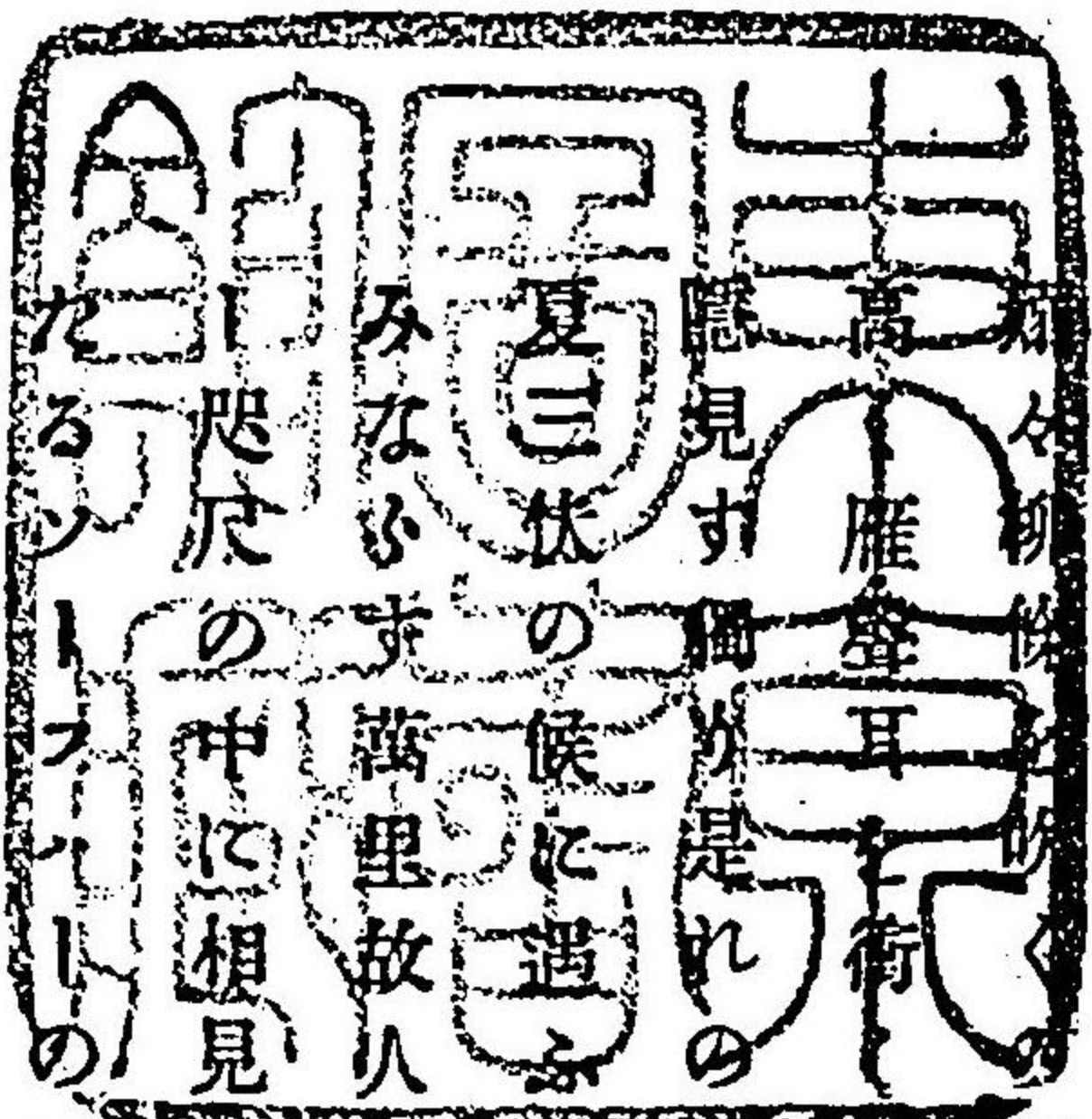
明治二十六年九月三日

海野力太郎識



心 醉 記

歸來既に一春秋回顧すれば九萬鵬程の壯遊恍として夢の如し
今や身は家郷に在て而かも心は常に太平洋の彼岸に漂ひ春風



朝一念忽ちセントラルパークに至り秋夜天
高雁聲耳を衝く夕ロッキ山頭一輪の月近く目睫の間に
隠見す獨り是れのみならず雪を看ては則ちポストンを憶ひ盛
夏三伏の候に遇ふては魂忽ちケープメイに飛ふ又獨り是れの
みなさす萬里故人の鴻鯉に接しては其の音容恍としてパーロ
ン咫尺の中に相見るか如く其の會て肱を枕にして共に談笑し
たるソートフェイスの影は宛然眼裏に往來す又獨り是れのみなご

すインター、ファッションを讀んではミシガン湖畔の風光を想像し
 ぜ、ワールドを讀んではプロクリン橋の雄壯を呼ぶ又獨り是れ
 のみならず富嶽を仰ひてはホワイト、マオンテンの絶景を回顧
 し墨水に臨んではミッシビーの洪流を憶ふ又獨り是れのみな
 らず銀座街頭人の緩歩するを見れば思ひ忽ちブロードウエー
 の肩摩殺撃の狀に及び其の腕車に據て往來するを見れば中心
 則ちケーブルカー、エレベーター、レールロードの爽快を憶ふ
 又獨り是れのみならず歌舞伎、深草の演劇を見ては則ちメトロ
 ポリタン、カジノ、スターの光景須臾にして心裏に浮ひ來る其の
 トラゲシーの能く人を泣かしめ其のコメディーの能く人を笑は

しむるの妙に至ては團十、菊五遂にケーン、ウィリヤムスの名流
 と相肩比し得るや否や又獨り是れのみならず青山、谷中の淨地
 に遊んで先輩諸公の墳墓に詣つる時は則ちトリニチー、ニウド
 ープの壯觀瞑目の間に往來して無位無冠のヤンキーか身後の
 豪奢尙は一世を空ふするを歎せずはあらず又獨り是れのみな
 らず阿部彦、雨宮の投機に敏捷なるを見ては則ちゼイ、ゴールド、ラ
 ツセルセーヂの智畧更に其の幾倍なるに驚かすんはあらず一
 は則ち猫額大の一孤島に一家族の輸贏を争ひ一は則ち全世界
 の市場を敵手として五大洲の商業中心に叱咤馳驅す其の雄志
 其の洪圖何んぞ當た千里を隔つと云んや又獨り是れのみなら

す三井、岩崎、住友、鴻池の諸大家を以て若しも日本の金傑を代表するものとせんか、ヴァンダーベルト、ハウスの二億五千萬弗、アストル、フハミリの二億萬弗、ゼイゴールの八千萬弗、ロツクフヘローの六千萬弗、スタンフホルドの五千萬弗は吾人に如何なる感と興ふべきや、又獨り是れのみならず時事、日々、自由、報知の各社が我が國新聞の尤も名高き一に數へられ儼然として各々一方に睥睨するを見れば、ブロクリン橋畔十二層樓のゼ、オールドが一日殆んど卅五萬枚を發兌し、其の一歳使用する所の紙量二千萬ポントを越へ、其の一歳消費する所のインキ二十五萬ポントに達し、而して其の片言双語は忽ちにして西半球より

東半球に反響し、坤輿を擧げて自在に掌中に翬笑せしむるものに比し、其の筆力、其の勢力果して如何そや、又獨り是れのみならず東京經濟雜誌、中外商業新報が我が國商業世界唯一の木鐸として尊敬せられ、國民之友、早稻田文學が全しく我が文學場裏第一流の批評家として勸迎せらるゝを思へば、フハイナンシヤル、コロニクル、コムメルシヤル、ブユウレチンの前者に於けるスタリビナー、センチュリー、レピウ、コスモポリタンの後者に於ける猶ほ是れ三才の童子が老成の大人を見るの觀なくんはあらず、又獨り是れのみならず西の海、小錦が角抵場裏異數の盛望を有し、日本力士の牛耳を執るを思へば、ローベル、カーキークか蓋世

の筋力以て歐亞の間を横行して豪氣四海を呑むの勇壯を憶は
すんはあらず又獨り是れのみならず新柳橋頭多少の紅裙小つ
ま、小糸の如き容姿清絶、海棠の雨を帯ひ玉樹の風に臨むか如く
天女の歌舞するか如き趣致ありと云んかメーリー、アングデーッ
ンの往事リ、ヤン、ラッセルの今日花舞ひ鳥歌ふ處俗漢泣き粹
人酔ひ軍人躍り學者歎するの絶妙に至ては余亦何の頌辭を與
ふべきかを知らざるなり又獨り是れのみならず板垣、大隈、伊藤
黒田の諸公が日本當代の四大政事家を以て欽仰せられ其一舉
手一投足の能く海内の人心を動かし其の地位權勢の實に九鼎
大呂より重きを見ればハリソン、ブレイン、クリブランド、ヒルの



MR. CORNELIUS VANDERBILT.

名士か各々整々堂々の旗幟を樹て、北米三千里の政海に馳驅し其主義の勝敗に據て一黨の運命をトし其の一進一退の榮枯に據て五大洲の盛衰を左右するの更に勇壯快絶なるを憶はすんばあふそ又獨り是れのみならず鳥山居士、東方策士の諸氏を以て若しも日東第一流の演舌家と稱するを得ばムーデ、コックが三寸の舌萬斛の泉を汲むか如く長江の大海に注くか如き雄辨に至ては宇宙間の文字は遂に之を形容し能はざるべし又獨り是れのみあふす山勢の彈琴、播磨の淨璃理にして若し能く人を泣かしめ能く人を笑はしめ能く人を怒らしむるの妙ありと云んかピツキスレーの朗吟、ダウヴレーのパンデオー魚跳り雲散

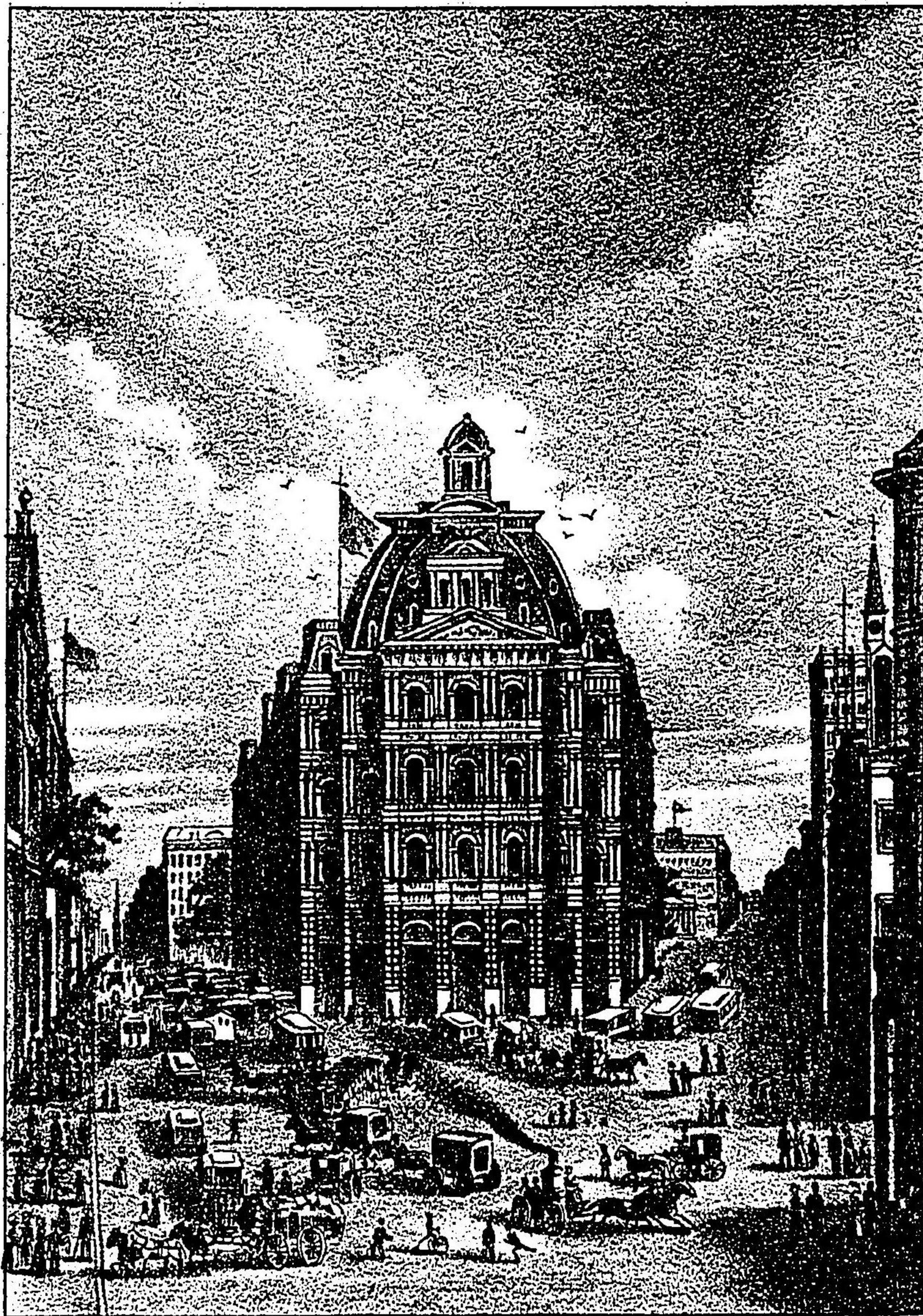
じ儒夫起ち勇者和ふくの名技に至ては眞に是れ天粟を雨ふし
 神鬼夜泣くに近かふん又獨り是れのみならず中川土屋の碁伯
 か天下の仙客を一堂に會し戦へは則ち勝ち攻むれば則ち破る
 の曉將たるを思へはマツケンヂーかチャンピオンの當年プロ
 ック、デルマー全盛の今日一夕の交戦萬金を賭するの大胆に驚
 かすんはあふす又獨り是れのみならず加藤博士か帝國大學に
 尤も榮譽なる地位を占め夙に日東學林の泰斗たるを思へは無
 位無冠のショールダンかスタンフールドに王侯の禮を享け
 一朝にして二千萬弗の大學にプレジデントと爲り名聲遠く歐
 亞の間に噴々として天下の學士翕然として之に向ふの盛事を

欽慕せずんはあふす又獨り是れのみならず守田勘彌翁を以て
 若しも我が國演戲場裏稀に見る所のマネジャーなりと云んか
 チャーレス、フローマンか二百有余の俳優を指揮し一週殆んど
 一萬五千弗の報酬を支出するを思へは東面梨園の貧富豈に日
 を同ふして語る可けんや又獨り是れのみならず櫻痴居士、默阿
 彌翁かドラマチック、ライチングに健筆の名を博し夙に此種の
 大家たるを思へはウヰリヤム、ギルレフトか一管毛頭の下忽ち
 二十萬弗の身代を造り得たるの敏腕は如何又獨り是れのみな
 らす蝶柳齋の手品、松旭の奇藝を以て扶桑第一の名技なりと云
 んかレスリー、ブロンデンか一條の繩に據てナヰヤガラ瀑布千

母の上を攀じ平然として生死を誤らざるの豪胆に至ては之を呼んで快絶と云んか將た壯絶と云んか又獨り是れのみならず榊原健吉翁か倭杖に巧みなるを見ては則ちペートル、ジャクソンか一場のホキシングに百城を傾くる盛望を憶はすんはあらず又獨り是れのみならず村田將官の射撃を以て空前絶後の名手なりと云んかうイヤム、ジャクソンのライフル、シウチング、イヤペインのピストル、シウチングに於ける百發百中の妙は孰れか軒輊すべき又獨り是れのみならず三州、一六の名筆を以て若しも人生榮譽の一に數ふるを得はタイプ、ライターか方寸の機械に據り一分時間に數百言の大文章を寫すの絶妙は之を頌す

るに如何なる名譽を以てすべきかを知らざるなり又獨り是れのみならず枕山の盛時、槐南の當代早く既に詩壇の牛耳を執て天下の詞客を羨殺するを思へはロングフヘロー在世の昔ホワイチール晩年の今日世界は如何なる欽慕を表し如何なる尊敬を捧げたるかは百世の下千載の久しき日月と共に不朽に傳へん又獨り是れのみならず高島、澁澤か鐵道事業に敏腕の譽れ高く古河、益田か鑛山開掘に機敏の名喧しきを思へはスタンフホルド、ハンチントンか半生の短日月に數千哩の鐵道を布設して世界の半面を開きパロン、フヘヤーか赤手以て無盡の鑛山を採り一は則ち一億五千萬弗の社長と爲り一は則ち太平洋岸の

大地主と爲りたる彼れか一代の活歴史は以て能く天地を震駭するに足らん又獨り是れのみならず原口博士か土木工事の大家として雷名夙に天下に浴く我が國多少の鐵橋實に氏が手に成るものあるを思へばゼイムス、イーツかミツシビの大河に於てワシントン、ロープリンかイースト、リバーに於て如何なる工事を成したるかは氏か遊米の見聞に於て正しく其の腦裏を刺激したるものあらん又獨り是れのみならず杉井、鹿島が乾兒三千を指揮し全國到る所土木の請負を爲し匹夫にして殆んど猗頓の富を造りたるを思へばデンバーの偉丈夫クラーク、ライドか鐵道工事の爲め一代九十餘萬弗の身代を起したる敏腕と



BROADWAY AND PARK ROW.

孰れか優劣あるべき又獨り是れのみならず墨水春時の競舟を以て若しも我が日本學生の名譽に大なる關係を有するものとせんかエール、ハーバードのニウロンドンに於けるボート、レイスは如何なる盛況なりや更に吾人の贅言を待たざるべし又獨り是れのみならず不忍池畔連日の競馬に僅々數十金の勝敗を争ひ顔色爲めに一變するの臆病家あるを思へばミツチエル、ドゥエルか朝來數時間の内に三萬弗の巨額を失ひ而かも泰然動かざるの豪氣に對し果して何の面目かある又獨り是れのみならず二洲橋畔翠樓の中、深夜花を闘はし一擲千金を以て人世の快事了すと云んかテーボ、湖畔カスツル、ロツクの別業に於て

ポオールドイン、クライトン、スミス、ダビツの三豪客を敵手として一夕三十萬六千弗の勝敗を試みたる壯遊は如何又獨り是れのみならず陸前の松島か日本三景の第一に數へられ衆美歸松洲天下無山水どまで稱賛されたるを思へはウエスト、ポイント、灣頭夕陽沈む處一葉の扁舟に棹してホドソンの碧流を下るときは兩岸の風光如何に明媚に如何に清絶なるや又獨り是れのみならず大丸、越後屋、白木屋か海内商家の豪を以て自ら居り世人も常に其の規模の大なるに驚くを思へは東部に於けるオネイル、ワナメーカー西部に於けるオブライオン、マーヂカ殆んど全世界の物品陳列所たる壯觀を備ふるに至ては吾人の腦裡果し

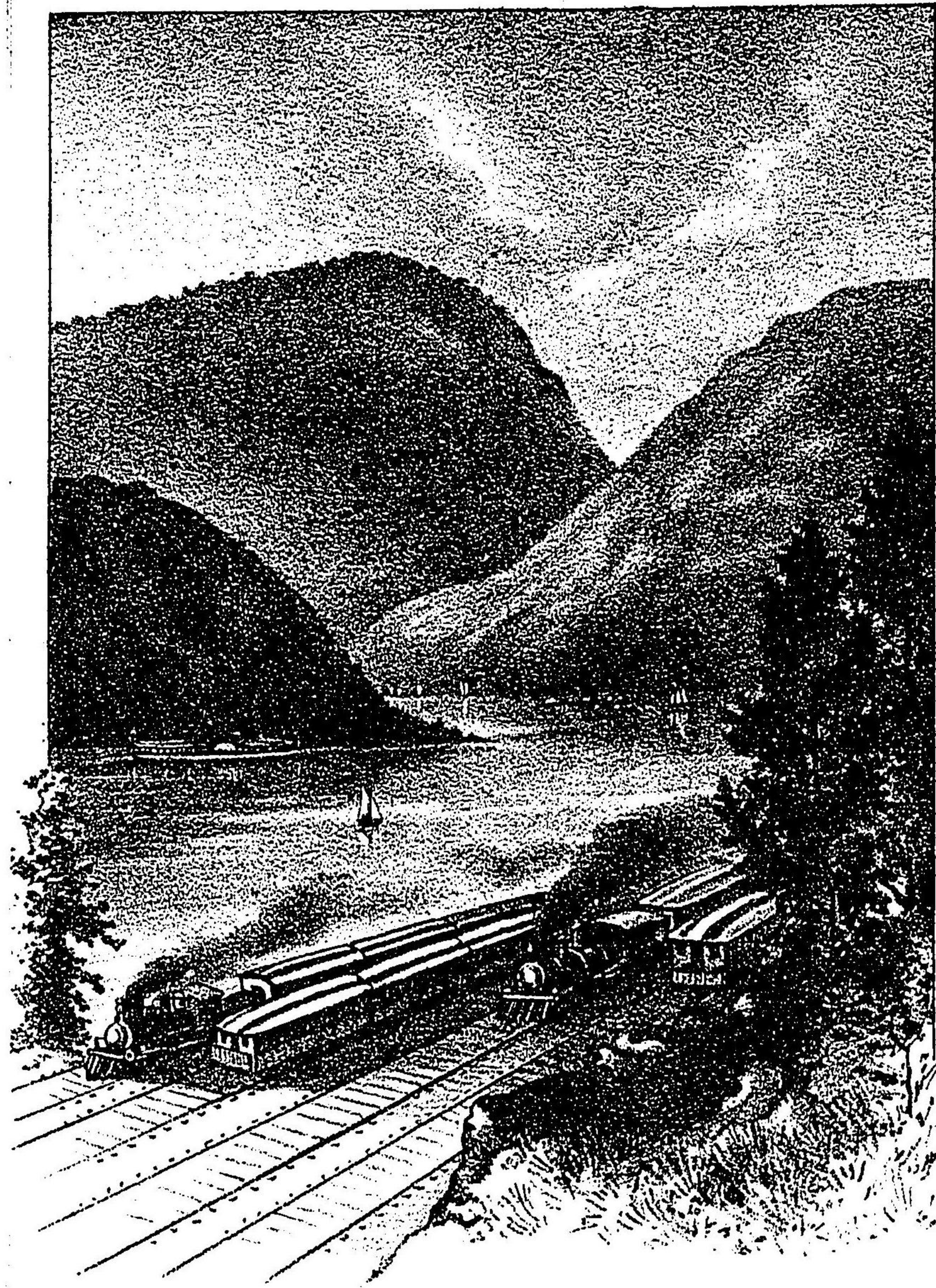
て何の感を爲すべきや又獨り是れのみならず丸善、梅原、大黒屋か各々一方の勇將として隠然全國の書肆を率ゆるを思へはスクリビナーのニウヨークに於けるリビンコットのフヒラデルヒヤに於けるランドマクナリーのシカゴに於けるバンククロフトのサンフランシスコに於ける必すしも其の絶大を誇言するを要せず目あるものは既に知り耳あるものは既に聞つらん又獨り是れのみならず鹿鳴館、帝國ホテルを以て若しも我が國最大最美の建築なりと云んかシカゴのパーマー、ハウスか七百十有八の寢房を有し之か一歳の裝飾殆んど十萬弗を費し而して其の資金の實に四百萬弗を越ゆるを思へは吾輩寧ろ驚かざらん

意を以て建設せられたるか一、則ち黄金七十万兩を費し一は則ち金貨一千万弗を費せり若しも費額の多少か建築の結構を判定するの標準たらは兩者の優劣は固より識者を待て後ち知らざるなり又獨り是れのみならず期米の引取に於ては道島が牛耳を執り株式の賣買に於ては兜町か泰斗たるを思へは紐育のプロジウス、エキステンヂが三千の會員を有し其の一日の取引數十萬石を越へ全しくストック、エキステンヂが一歳六千六百萬個の株式を授受し夙にフウール街頭五洲の金權を掌握するの勢力は豈に吾人が一驚を價ひせざらんや又獨り是れのみならず日本銀行が我が國金融世界の中心を以て自ら任じ其の

と欲するも豈に夫れ得べけんや況んやニウヨークに於けるヒ
フスエベニウ、フヒラデルヒヤニ於けるシラード、ポストンに於
けるベンドムの如きに至ては吾人の膽を抜くもの更に幾許ぞ、
又獨り是れのみならず知恩院、本願寺か我が國最大の寺院にし
て八坂の塔、凌雲閣か日本屈指の高塔なりと云んかニウヨーク
に於けるヒフス、エベニウのカゾリック、カセドラルか其の建築
に三百萬弗の大金を費しソート、レーキに於けるテムブル、プラ
ックのモルモン、ダブルナワクルか其の一堂の中一萬五千人を
容るゝの餘地を有しポストンに於けるバンカヒル、モニユメン
トか二百二十尺の半空に聳へポトマツク河畔に於けるワシン

トノモニユメントか六百尺の中天に直立するの壯觀は吾人か
未だ想ひ及はざる所なり又獨り是れのみならず錦輝、厚生の一
館を以て我が國アツセンブリー、ホールの最大なるものと誇稱
せんかシカゴのアウソトリヤンか殆んど九千有餘の椅子を備
へサンフランシスコのメカニック、ホールか時に練兵の用を爲
すの宏大に比すれば其の規模の大小何んぞ當た雲泥を隔つと
云んや又獨り是れのみならず日光に於ける將軍家の靈廟は徳
川氏累代の丹精を籠めたる所にして實に我が三百諸侯の膏血
を犠牲に供し以て能く其の輪煥の美を成就したるを思へはワ
シントンの政事堂は如何に忠義の精神を以て如何に愛國の誠

意を以て建設せられたるか一は則ち黄金七十万兩を費し一は則ち金貨一千万弗を費せり若しも費額の多少か建築の結構を判定するの標準たらは両者の優劣は固より識者を待て後ち知らざるなり又獨り是れのみならず期米の引取に於ては道島が牛耳を執り株式の賣買に於ては兜町か泰斗たるを思へは紐育のプロツウス、エキステンデが三千の會員を有し其の一日の取引數十萬石を越へ全しくストツク、エキステンデが一歳六千六百萬個の株式を授受し夙にフウール街頭五洲の金權を掌握するの勢力は豈に吾人が一驚を價ひせざらんや又獨り是れのみならず日本銀行が我が國金融世界の中心を以て自ら任じ其の



一進一退は實に全國の商工業を左右するの力あるを思へは一
のドレキシルモルガンかユニオンパシフィックの急を救はんか爲
め一朝にして三千万弗の支出を金諾し商海の狂瀾を既に倒る
るに挽回したるの快手腕は東洋何の所にか余之を見るを得ん
又獨り是れのみならず日本郵船會社か海國最大の汽船會社と
して夙に亞細亞の東方に盛名を有し其船舶の安全迅速は以て能
く世界に誇稱するに足るとせんかパシフィック、メールのチャイナ
か旬日に四千八百哩の太平洋を航しインマン、ラインのセター、ラ
ブパリーか一万五百噸の大船を以て尙ほ且つ五日半に大西洋
を横ぎり而かも其の船中の豪華殆んど王侯を凌ぐの盛大なる

に至ては他郷遠往の身は圖らずも衣襟を沾すを知るなり又獨り是れのみならず日本鐵道會社が營業線路六百哩を有し其の一歳の収入殆んが二百五十萬圓に達し日本唯一の鐵道王を以て海内に雄飛するを思へばペンシルバニヤ鐵道が六億萬弗の資金を放貨して十二ヶ月間に七千八百萬人の旅客と一億三千萬噸の荷物を運送し其の營業線路一万二千哩より得る所一歲大概ね一億五千萬弗の巨額に昇り之か事務に鞅掌するもの無慮十餘萬人を超ゆると云ふ宏大なる規模に對しては吾人の感慨果して如何ぞや又獨り是れのみならず内國通運會社が多年我が國エキस्पレッツスの泰斗と欽仰せられ其の名聲の都鄙の間

に喧然たるを思へばアマムス、アメリカン、ユナイテッドステート、ウエルスフハーゴの各社が各々數万哩の鐵道線路と數百艘の外洋船舶を使用し其の營業の區域東、大平洋より西、大西洋を一貫して遠く歐亞の中心に跨り其の一顰一笑の忽ち商海を撼揺するの大勢力あるに對しては吾人の失意果して如何ぞや又獨り是れのみならず明治の火災に於ける明治の生命に於ける共に是れ我が國有數の保險會社にして實に此業の領袖たるを思へばハートフホールドのイトナ、ニウヨークのイク井テープルは如何に盛んなりや一は則ち一千有餘萬弗の資産を有し其の積立金既に七百八十萬弗を越へ一は則ち七億三千萬弗の人

命を保險し創業以來殆んど一億五千萬弗の巨額を支出したるを思へば東西貧富の程度是に至て亦片言を要せざる可し又獨り是れのみならず新橋平岡の工場を以て若しも日本に指を屈るべき一二の鐵道工場なりと云ふを得んがポードインカフヒラデルヒヤに於て一日三臺のエンジンを出しブールマンカシカゴに於て八時間に百輛のカーを製造するの偉業は之を呼んで宏大なりと云んか將た絶大なりと云はんか嗚呼米國に於ける一二外面の事物に就て余か一夕の感を述ぶれば則ち此の如し若し夫れ半夜孤燈の下靜かに東西國勢の逕庭を看る所以を思へば余輩は轉た斷腸に堪へざるものあるなり何んぞや看取

せよ彼等は政事の上に於ても宗教の上に於ても教育の上に於ても一般商工業の上に於ても文學の上に於ても將た遊戯の上に於ても其他總ての人事總ての場合に於て彼等か運命を支配する所のものは唯一の實力にありとを看取せよ彼等は實力に據て競争し實力に據て進退を決し優勝劣敗は自然の淘汰に任ず是故に實力あるものは社會の上流に浮泳して世の光輝と爲り實力なきものは社會の下層に沈澱して能く其分を守り亦倥傯を万一に願はず情至り理盡す學問經驗品行才器勤勉禮讓は彼等が常に尤も敬愛する所にして無學頑陋汚徳姦佞怠惰傲慢は彼等か惡んで取らざる所なり此の如く個人の美德相集りて

一、朶爛熳の光景を織成し、遂に所謂文明富強の實相を反影し、來るを思へば余輩か東洋人文の腐敗を慨してヤンキーの高風を慕ふ所以のもの亦偶然に非らざるなり夫の春風秋雨の夕動もすれば夢魂の去てロッキン山頭白雲の間に往來し又一身の家郷に在るを覺へざるに至ては寧ろ國家を忘るゝの罪人なりと云はんか抑も亦國を愛ふる一片氷心の禁する能はざるものあるか爲めか蓋し讀むもの自ら能く之を知らん筆を投じて憮然たり

心 辭 記 終

明治二十五年九月十九日印刷

明治二十五年九月二十日出版

明治二十六年九月廿四日再版印刷

明治二十六年九月廿八日出版

非賣品

著者兼發行

東京府士族

海野力太郎

東京市淺草永住町百二十六番地

印刷者

東京府士族

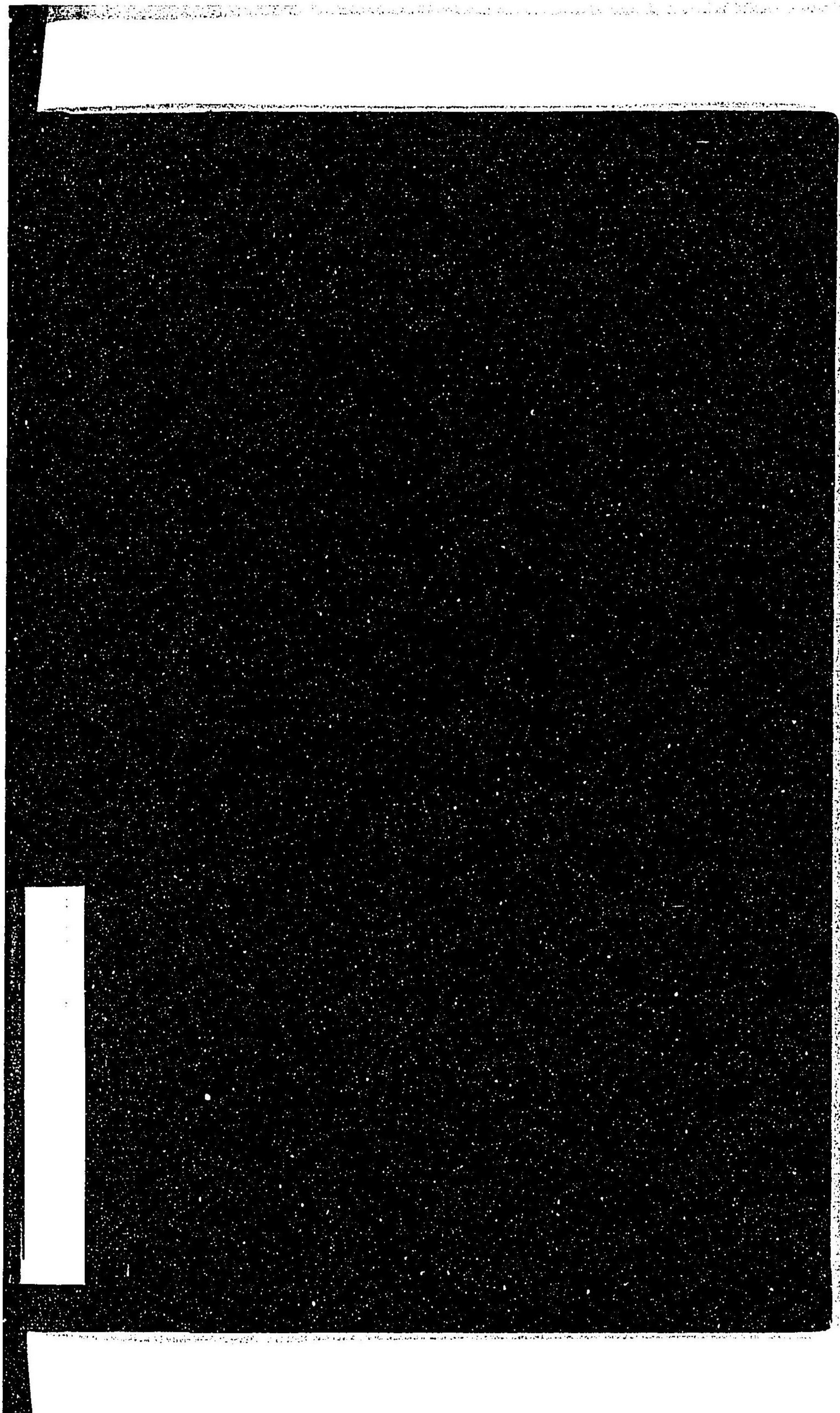
藤井鐵太郎

東京市下谷區北稻荷町四十八番地寄留



A 893
12

2953
U76





026905-000-1

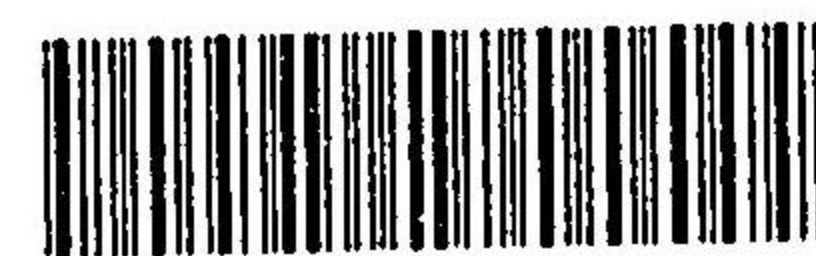
295.3-U76

心酔記

海野 力太郎/編

M26

ADG-0023



05-11-30